

D5

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-201734

(43)Date of publication of application : 25.07.2000

(51)Int.Cl.

A45D 44/22  
A61H 39/04

(21)Application number : 11-003810

(71)Applicant : MAIKU CORP:KK

(22)Date of filing : 11.01.1999

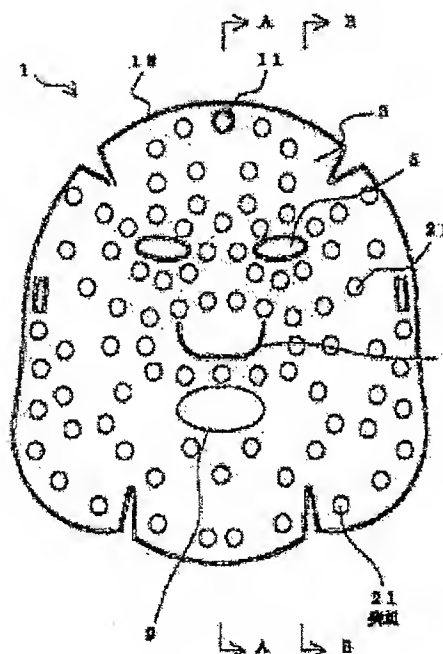
(72)Inventor : SEKI NORIKO

## (54) MASK

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a mask for beauty to make massage of a whole face easier and to enable the right and left balance of a face to be corrected.

**SOLUTION:** On the backside of this mask 1, plural protrusions 21 are equipped. The protrusions 21 have each smooth round tip end and are placed right and left symmetrical on the backside of the mask 1. A user put the mask on his/her face by him-/her-self and pushes the protrusion part from the surface side to execute facial treatment. Effective points on the face are simultaneously pressed by the protrusions equipped on the backside to massage the face. Thus stress and distortion of the face is eliminated to correct the right and left balance of the face.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-201734  
(P2000-201734A)

(43) 公開日 平成12年7月25日 (2000.7.25)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)
A 4 5 D 44/22		A 4 5 D 44/22	A 4 C 1 0 1
A 6 1 H 39/04		A 6 1 H 39/04	Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-3810

(22) 出願日 平成11年1月11日 (1999.1.11)

(71) 出願人 595180246

株式会社マイクコーポレーション  
東京都調布市佐須町2丁目22番12号

(72) 発明者 関 紀子

東京都世田谷区松原5丁目9番地

(74) 代理人 100096091

弁理士 井上 誠一

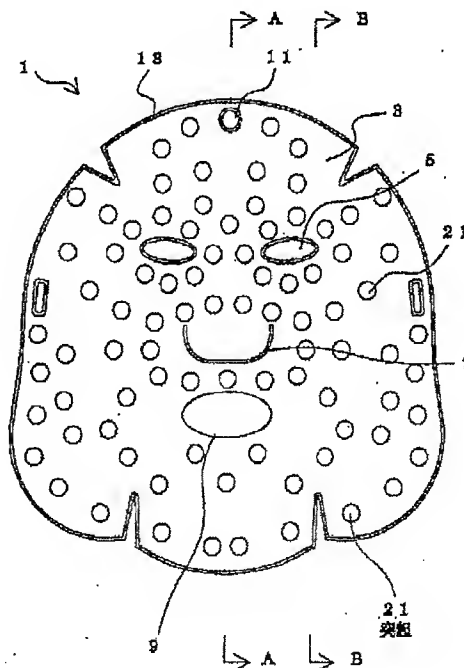
Fターム(参考) 4C101 BA01 BB12 BC01 BC30 BD16  
BD26

(54) 【発明の名称】 マスク

(57) 【要約】

【課題】 顔部全体のマッサージを容易にし、顔の左右のバランスをも補正できる、美顔用のマスクを提供すること。

【解決手段】 マスク1の裏側には、複数の突起21が設けられる。突起21は先端が滑らかな丸みのある突起であり、マスク1の裏側に左右対称に配置されている。このマスクを使用者が自らの顔面に被せ、表側から突起部を軽く押すことにより、美顔施術を行う。裏側に設けられた突起により顔面全体のツボを一度に押し、マッサージを施し、顔面の緊張や歪みを解消して、顔の左右のバランスを補正する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】美顔用のマスクであって薄膜状のマスク本体の裏側に、複数の突起を設けることを特徴とするマスク。

【請求項2】前記マスク本体には、眼部開口、口部開口、鼻部スリットを設けることを特徴とする請求項1記載のマスク。

【請求項3】前記マスクは、樹脂製であることを特徴とする請求項1記載のマスク。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、美顔用のマスクに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来の美顔用具として提供されていたマスクとして、顔面の一部あるいは全体を覆うことにより血行と発汗を促し、新陳代謝を活性化させるものがある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このようなマスクでは、表皮細胞の代謝を促進し組織内の水分バランスを調節するという、表面的な美顔効果が得られるにとどまり、表情筋等に積極的な作用を及ぼすことはできなかった。

【0004】本発明は、このような問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、顔部全体のマッサージを容易にし、顔の左右のバランスをも補正できる、美顔用のマスクを提供するものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために本発明は、美顔用のマスクであって、薄膜状のマスク本体の裏側に複数の突起を設けることを特徴とするマスクである。

【0006】本発明では、裏側に突起を有する柔軟な薄膜状のマスクを使用者が自らの顔面に被せ、突起部を軽く押すことにより、美顔施術を行うものである。裏側の要所に設けられた突起により、顔面のツボを押すことができる。同時に表情筋にマッサージ効果を与えることができ、顔面の緊張や歪みを解消して、顔全体のバランスを補正することができる。

## 【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて、本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は、本発明の一実施の形態に係るマスク1の表側を示す図、図2はマスク1の裏側を示す図、図3は図2のA-A断面図、図4は図2のB-B断面図である。

【0008】図1に示すようにマスク1は薄膜状の本体3に眼分開口5、鼻部スリット7、口部開口9等が設け

られたものである。本体3の厚さは、1、2mm程度である。鼻部スリット7と口部開口9によって使用中も十分に気道を確保できる。また、眼部開口5により外部を見ることができる。尚マスク1はシリコンゴム、あるいはその他の樹脂等からなる。

【0009】また、本体3の上部には、フック用開口11が設けられ、外縁には外縁部13が隆起している。フック用開口11は、マスク1を洗浄した場合に、壁等に設けられた図示しないフックに、このフック用開口11を引掛けて乾燥させたりする時に用いる。

【0010】中央部隆起15は、使用者がマスクを顔面に被せる際に中心を合わせやすく、また左右の突起21をツボに正しく当てることを容易にしている。

【0011】図2、図3、図4に示すようにマスク1の裏側には、複数の突起21が設けられる。この突起21の内部は中空でなく樹脂等からなる。突起21は先端が滑らかな丸みのある突起であり、マスク1の裏側に左右対称に配置されている。図5は、マスク1の使用時の状態を示すものである。使用者は、入浴時等に顔の上にマスク1を置く。この際汗等により、顔の上にマスク1が貼られたような状態になる。

【0012】使用者がマスク1の表側から顔面を押すことにより突起21が顔面のツボを押し、ストレッチ効果を与える。これにより表皮細胞の血行が活性化し新陳代謝が促され、美肌が得られることはもとより、表情筋のストレスなどによる顔の左右のアンバランスを補正してゆがみを除く。

## 【0013】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように本発明によれば、顔部全体のマッサージを容易にし、顔の左右のバランスをも補正できる、美顔用のマスクを提供することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】マスク1の表側の平面図

【図2】マスク1の裏側の平面図

【図3】図2のA-Aによる断面図

【図4】図2のB-Bによる断面図

【図5】マスク1の使用時を示す図

## 【符号の説明】

1 ……マスク

3 ……本体

5 ……眼部開口

7 ……鼻部スリット

9 ……口部開口

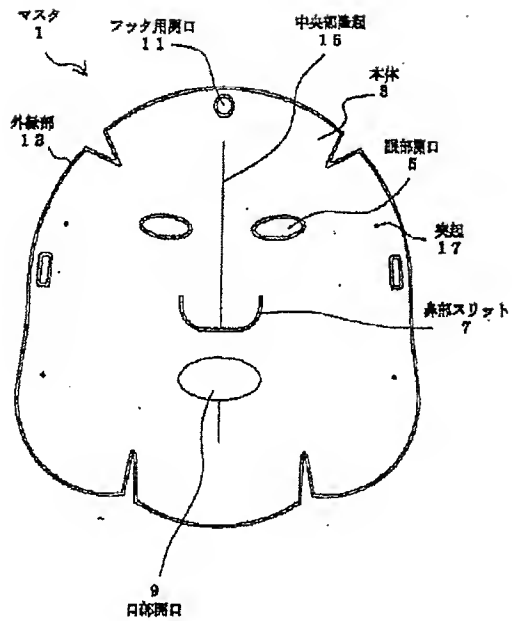
11 ……フック用開口

13 ……外縁部

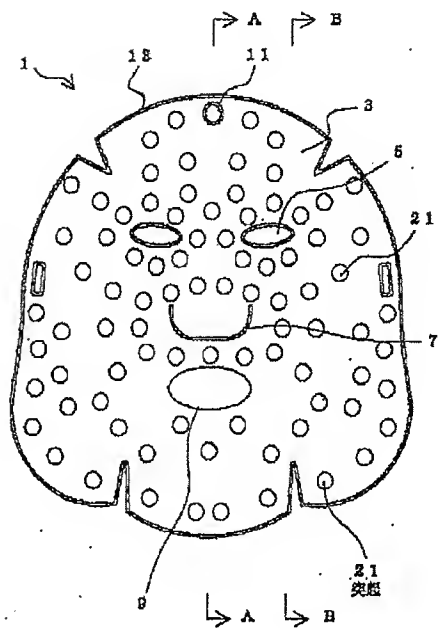
15 ……中央部隆起

21 ……突起

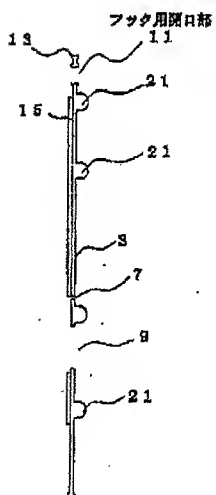
【図1】



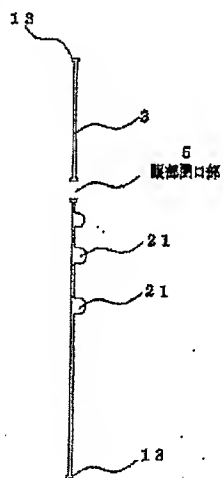
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

